



こちらの欠点をちゃんと言ってくれる人
 じゃないと、あらぬ方向に進んでしまっ
 てよくないので、ちゃんと正直に指摘し
 てくれるところがいい

斉藤光学株式会社(神奈川県横浜市)は2001年に設立され、工業用顕微鏡の開発製造・販売をおこなっている。今回は代表取締役の斉藤清志氏に、ハードウェアのアウトソースに到った経緯を伺った。

※ お客様の機密の保持のため、開発案件の写真は掲載しておりません。ご了承ください。

---- 早速なんですけれど、アウトソースを考えたのはいつごろどんなきっかけでしたでしょうか？

そうですね、機械設計とかを元々アウトソーシングしてますので、電気的な設計っていうのは今までそんなになかったんですけども、ちょっと光源を変えたいなというようになりまして。

それで何年前だろう。3-4年前のテクニカルショー横浜でお見かけして、そういう方法があったのかと、ずっと思っていたんですけども、なかなか着手ができなかったんですね。つい最近、着手のお願いをしたところです。

---- 今お話していただいたところですけど、きもと特急電子設計をいつどうやって知ったかというのは、展示会ででしょうか。第1印象はいかがでしたでしょうか？

展示会見た時は正直ちょっと変な人かなと思ったんですけど。

---- なんかよく言われます(笑)。

まずなんか腕にPDAつけていて。

---- これですね。

ええ。でも私も長年、会社やる前までは会社でエンジニアとかの設計部にいたんで、大体、技術者はそんなもんだなっていうのはわかってて、大丈夫です。

---- ありがとうございます。他の会社と比較とかされましたか。具体的にどこかとかありますか。

ないです。正直、アウトソーシングするところ、他に知らないですね。機械設計は、長年付き合っている知り合いの顕微鏡の機材を作ってる会社をお願いしてるんですよ。ですから、電気設計のアウトソーシングって意味では、他の会社はわからないですね。

---- ありがとうございます。ちなみに依頼するときに何か不安とかありましたでしょうか？

そうですね、不安ということは特にないんですけど、なんせ最初お金をいただかないって言われてるんで、リスクとしてはないですよ。ただ、あんまりいろいろ何かしてもらって払わないっていうのもちょっと嫌だなと思ったんで、あとはお願いしたかと思うんですけど。

---- はい。ちょっとあのときはゴールの形がわからなかったんで、「作りたいのはこれですか」みたいなところをちょっと明確にというか、物を見ないと多分お話が進まないかな、という印象だったので。たまたまあの試作のプラットフォームを、市場で試してみようかっていうタイミングでもありましたので。

---- アウトソースしてみte感想とかいかがでしたでしょうか？

そうですね。マルチカラーの方は、ちょっと自分で思ってた方向に進んだので、それは面白いかなと。

---- 良いところ三つ、悪いところ三つありましたら。

良いところは、早いですね対応が。早くいただける。あとは、アイデアも出していただける。あとは、何だろう。早くてアイデア出してもらえば十分な気もするんですけども。

最初にちょっと戻ってしまうんですけども、依頼した理由っていうのは、やっぱり人柄が大丈夫じゃないかなと思ったんですね。

---- ありがとうございます。

やっぱり正直ですし、責任感もあるんで。結局、なんていうんですか、こちらの欠点とかそういうのをちゃんと言ってくれる人じゃないと、あらぬ方向に進んでしまってよくないので、そういうのをちゃんと正直に指摘してくれるところがいいですよ。逆にそういうのを指摘されるとちょっとやだなと思う人は、頼まない方がいいかも知れません。

---- 悪いところの方もありますか。今のやつですかね。

そうですね、逆に言うと悪くなっちゃいますよね。指摘されたくない人は嫌でしょうね。特に社内に他の技術者がいて、なおかつ木元さんにも頼んでるとなると、なかなかそっちの技術者の連携が、場合によっては良くないかも知れない。

---- なるほど、そうですね。

あとはどうしようもないんですけども、それは営業イコール技術者になっちゃってるので、ちょっと何か物を見せてお話ししたいときとかに、なかなかこう日程取るのは難しいのかなっていう印象はありますね。

---- そうですね。1人でやってますからね。

ええ。今ビデオ会議とかもありますけれど、実際に品物をちょっと見せようとした場合、なかなかビデオですと難しかったりするんです。

---- なるほど。きもと特急電子設計への今後の期待とかご要望とかありましたら。

そうですね。私の方としては、できればもう少しうちの製品内容とか理解してもらって、もう任せてしまいたいっていう。例えばケースを、その後メカ設計の人に作ってねっていうのは何か簡単なポンチ絵で書いてもらえると、とは思っています。

さっき率直に思ったのはですね、たくさんいろんな回路設計を経験され、物作りの経験をされていて、もの作りが相当好きであるんでしょう。ただ、もの作りが好きな人はいっぱいいるんですけども、木元さんは基礎力が高いんだろうなとは思っています。

まあ木元さんをそんな知ってるわけじゃないですけども、ちょっと何回か仕事を一緒にして話してるときにですね、いくら好きでもやっぱり基礎をしっかりとってない人は、あんまりうまく作れませんので。

---- そうですね。単に私は子供の頃からやってるっただけかな。

いや、いやその後ちゃん学校できちんと勉強されて、いろんなことを基礎力を身に付けられてる上に経験値を積んでるんです。非常に安心して頼めますよね。

---- なるほど、ありがとうございました。

ハード+ファーム+クラウド開発が 9万円で。LTE回線、ケース込み。 仕様書不要。

きもと特急電子設計 プロフィール



屋号	きもと特急電子設計
代表	木元 峰之 (きもと みねゆき)
設立	2009年
従業員数	1人 (代表1人でやっています)
住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3-5-16 渋谷3丁目スクエアビル2F (レンタルオフィスですので、アポを取ってからお越しください)
開発室	神奈川県横浜市 (普段はこちらで仕事をしています)
電話	0120-220-447 (打ち合わせ中など出られない場合は、留守電にメッセージをお願いします)
メール	post@kex.jp
ホームページ	https://kex.jp/
扱える技術	回路(ハードウェア)設計: アナログ、デジタル、マイコン、電池など。 プリント基板: 設計、はんだ付けなど。 ソフトウェア開発・ファームウェア開発: アセンブラ、画面・タッチパネル設計、センサー制御、電源制御など。 無線モジュール選定・制御: Wifi、Bluetooth、TWE-Lite独自ファーム、FMCWなど。 通信プロトコル: TCP/IP、MIDI、有線プロトコル設計、無線プロトコル設計など。 サーバ設定: Linux、Dockerなど。 ウェブシステム開発: C言語、php、JavaScript、画像処理、3D座標計算、独自フレームワーク設計など。 スマートフォンアプリ開発: Android、NDKなど。 自動化: PDF生成、データフォーマット変換、実験計画法、makefile、自動テスト、バーコード処理など。 ※大事なのはお客様のゴールですので、AIといった手段に囚われず、適切な技術を組み合わせてご提案します。